

伝統とモダンが交差する、まちの文化祭

神楽坂

まち飛びフェスタ

2004

9月25日(土) ▶ 10月30日(土)

坂に、
キャンパス

路地に、
ビックリ箱。



初登場!!
特典いっぱいの
サポーターバッジ

作:よしだみよこ
2004バッジ・コンペ入選作
(5つの扇は縁起のよい家紋の一つ)

紅葉や漱石が遺した時代から、昭和の夜店の歩けないほどの賑わいまで、神楽坂は魅力あふれる文化発信のまちとしての役割を果たしてきました。坂と路地のヒューマンスケールな空間を舞台に、伝統的なものからモダンなものまで幅広く交差して賑わっていたのが、神楽坂の良き時代であったのではないのでしょうか？ その姿は、決して過去のものはなく、実はいまでも健在であり、古典芸能の深い文化層から、もっとも現代的でパワフルな文化層まで、掘り起こしてみれば、独自のバランス感覚で分布しているのが、神楽坂の姿です。

まち飛びフェスタは、そんな神楽坂らしさを継承し、伝統とモダンが一年に一度大きく交差してエネルギーを発信するまちのイベントです。

— 神楽坂まち飛び実行委員会 —

バッジ	No.	イベント名	9/25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	10/1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日
	①	坂にお絵描き ～700mのキャンパス																								雨天順延						
	②	神楽坂まちなみスケッチ会																														
	③	雅の世界・琴と胡弓の演奏会																														
	④	野点(煎茶)																														
	⑤	小唄 in 神楽坂																														30日
	⑥	投扇興と東八拳																														
	⑦	アートマーケット																														
	⑧	御家流香道体験講座																														
	⑨	天に偽りなきものを 一謡と花の舞																														
	⑩	観世九阜会 10月定例会																														
	⑪	立川志らく・落語と異色江戸座談会 田中優子法大教授、平岡正明、元木昌彦出演																														
	⑫	竹ちゃん亭落語会																														
	⑬	東京理科大学落語会																														
	⑭	古今亭菊之丞落語の会																														
	⑮	ブラッセルズ寄席																														
	⑯	法政大学落語会																														
	⑰	七転八倒の会																														
	⑱	小天狗よったり会																														
	⑲	神楽坂わらだな寄席																														25日
	⑳	半分ろくまく宴 ―世紀の大ドンデン返し―																														30日
	㉑	父と暮らせば																														
	㉒	神楽坂を歩く																														30日
	㉓	秋の陶芸作品展 & やきもの市																														
	㉔	友禅研究会作品展 & 一日友禅染体験教室																														
	㉕	切り絵教室																														
	㉖	信州そば打ち体験																														



また飛びフェスタの期間は、9月25日（金）～10月24日（日）を予定していましたが、急遽10月30日（土）まで延長となりました。下記のタイムスケジュールが10月24日（日）で終わっているのはそのためです。それ以降に予定されるイベントは、矢印と数字で表示してあります。

[illegible]

イベント

1

坂にお絵描き

～700mのキャンバス

- まち飛び実行委員会
- 10月17日(日)13時開始
(雨天10月24日に順延)
- 神楽坂通り全域

神楽坂通りの路上にロール紙を敷いて、好きなだけ絵を描きます。好きな絵の道具を持って神楽坂にお集りください。お天気は天任せ! 神楽坂の下から上まで絵を眺めながらのウォッチングもかなりユニークです。☎ 3269-2639 (坂本)



2 神楽坂まちなみスケッチ会

- 東京を描く市民の会 ●9月25日(土)10時～16時 ●集合:毘沙門天善國寺

「東京を描く市民の会」との共催で毎年開催される「神楽坂まちなみスケッチ会」。今年も路地を巡りながら、神楽坂の素顔を絵筆でとらえる楽しい1日にしたいと思います。花柳界の面影や文人の足跡をたどるまち歩きの後、自由にスケッチを行います。どなたでも参加できます。水彩画の道具を持参してお集りください。東京を描く市民の会ウェブサイトもご参照ください。

☎ <http://www.egakukai.com/>

7 アートマーケット

- まち飛び実行委員会
- 10月16日(土)12時～17時
- 毘沙門天善國寺境内

自分で作った作品をこの機会に売ってみたいというアーティストたちが、お店を開きます。掘り出し物を見つけてね。☎ 3269-2639 (坂本)



3 雅の世界・琴と胡弓の演奏会

- まち飛び実行委員会/協力:(財)宮城道雄記念館
- 10月2日(土)13時30分開演 ●毘沙門天善國寺書院 ●1,000円 ●定員100名

演奏曲目:1.春の海/宮城道雄作曲 2.瀬音/同 3.祭の太鼓/同 4.荒城の月/宮城道雄編曲 5.萩の露/幾山検校作曲 ビデオ上映:「あめつちのうた 宮城道雄生誕百年記念映画」(15分) 出演:松井美千子(箏・十七絃、三絃) 多々良香保里(箏、胡弓) 石倉光山(尺八) ☎ 3513-5670 (神楽坂まちの手帖)

8 御家流香道 体験講座

- 鈴木堯聖・鈴木堯香 ●9月26日(日)14時開始
- 毘沙門天善國寺書院 ●3,500円

香道は一定の作法に従って香木を焚き、その香りを文学的テーマのもとで鑑賞することにより、豊かな心を育む芸道です。香祖三條西実隆公より続く香道御家流は、現在東京の御宗家を中心に香文化の伝承に努めています。心静かに香を聞くと五感のバランスが良くなり、ストレス解消と精神安定につながります。第廿一世宗家・三條西公正師直門、鈴木堯聖・鈴木堯香両師範を講師に、伽羅を始めとする希少価値の名香を鑑賞します。☎ 5261-0019 (椿屋)



4 野点(煎茶)

- 10月2日(土)13時～17時
- 毘沙門天善國寺境内 ●300円 ●定員60名

神楽坂の中心ともいえる毘沙門天善國寺の境内で、野点が行なわれます。煎茶道鳳凰流の席主は、伴仲春豊さん。茶道の心得あるなし関係なくなたでも。忙中閑アリの気分で静かで豊かな茶の湯の時間をお楽しみください。

☎ 3269-2639 (坂本)



5 小唄 in 神楽坂

- 扇よし和・宮澤やすみ ●10月30日(土)19時開演
- 毘沙門天善國寺書院 ●2,000円

神楽坂ゆかりの小唄家元と神楽坂在住のクリエイターがお送りする小唄体験会。「小唄って何?」という初心者を対象に、楽しいトークを交えながら、さまざまな小唄の魅力を伝えたいです。☎ 090-1039-1837 (菅谷)



6 投扇興と東八拳

- 神楽坂投扇興の会/東水舎(東八拳) ●10月3日(日)11時～
- 志満金 ●3,500円(食事付・飲み物代別)
- 1部/投扇興(11時～)中休み(13時～) ●2部/東八拳(14時～)
- 要予約(お名前・ご住所・連絡先をご記入の上、FAX5227-6750までお申込み下さい)

扇子を投げて的を落とし、その落ちた形を源氏物語の各巻に見立てて、その点数を競う投扇興。キツネと鉄砲打ちと庄屋さんの三者をジェスチャーで示し、ジャンケンのように争う東八拳。お座敷での伝統的な遊戯を神楽坂の名店「志満金」で楽しめます。東八拳のあとには、かつぱれと獅子舞も楽しめるかも。初心者大歓迎。和服での参加は、もっと歓迎。半日のんびりと量の大広間で遊びませんか? ☎ 5227-2772 (サザンカンパニー長岡・高橋)

9 天に偽りなきものを — 謡と花の舞 —

- 10月9日(土)19時開演 ●光照寺書院 ●2,500円
- 演出:素謡「羽衣」,「橋弁慶」
- 演者:浅見慈一、長山耕三、長山桂三、古川充 ●花創作:千椿
- 主催:NPO法人粋なまちづくり倶楽部



観世流若手能楽師・長山耕三が、花で幻想的な世界を表現する創作家・千椿と、能の演目「羽衣」と取り組みます。表現手段は異なるものの、清浄、美しさを主題とした「羽衣」の世界が繰り広げられるなか、その天人という透明度の高い女性を「花」でどのように表現するのか。神楽坂の名刹・光照寺を舞台に夢幻の世界へと誘います。謡と花の新しいコラボレーションを、ぜひお楽しみに。

☎ 3260-6260 (粋なまちづくり倶楽部)

10 観世九阜会 — 10月定例会 —

- 観世九阜会 ●10月10日(日)13時開演 ●矢来能楽堂
- 能 龍田(たつた) 五木田三郎・天鼓(てんこ) 弘田裕一
- 狂言 伯母ヶ酒(おばがさけ) 野村与十郎 ほか

龍田社参詣の僧の夢中、龍田姫の神霊が現れ明神縁起と紅葉の美しさを舞い讃え神楽を奏し昇天する能「龍田」と、天より降った鼓を帝の所望を拒否し隠したために呂水に沈められた鼓の天才天鼓…子を失った老人の哀しみと名器を主題とした能「天鼓」。☎ 3268-7311 (矢来能楽堂)

落語 第1回 神楽坂落語まつり「江戸だ!落語だ!神楽坂!」

11 「立川志らく・落語と異色座談会」

●10月11日(月・祝)●毘沙門天善國寺書院 ●2,500円(前売り2,200円) 定員100名
●田中優子(法政大教授、江戸学者)、平岡正明(ジャズ評論家、落語評論家)、
立川志らく(落語家)、元木昌彦(編集者)／主催・まち飛び実行委員会／共催・神楽坂まちの手帖
●第1部 座談会「お江戸の話と落語の世界」(14時～15時30分)●第2部 立川志らく独演会(15時45分～16時30分)

昨年夏から神楽坂毘沙門天で定例の落語会を開催し、すっかりおなじみの立川志らく師匠が、神楽坂でこれまたおなじみの着物美人江戸学者田中優子教授に古典落語の舞台上で登場する長屋、火事、花見、徒弟制度など江戸文化の教を請います。そこに落語評論兼ジャズ評論の達人平岡正明が乱入、元講談社週刊現代名編集長で志らくのピンを1年間にわたって企画した元木昌彦も加わって。いったいぜんたいまたもや座談会になるのやら。会場はお座敷ですが、20席ほど折り畳みの椅子席もご用意いたしました。☎ 3513-5670(神楽坂まちの手帖)



田中優子
法大教授

VS

立川志らく



12 竹ちゃん亭 落語会

●雷門助六(落語) 神田京子(講談) ●10月7日(木) 19時開演
●居酒屋竹ちゃん ●2,500円(飲み放題・税別)



毎月第一木曜日竹ちゃん4階の大宴会場で落語会を開催しています。落語以外にも講談、漫才、曲芸などの月もあり、楽しさ満点と好評です。終わってからのお楽しみ抽選会があります。当日の演者の色紙、手ぬぐい、次回落語の招待券などが当たり、大いに盛り上ります。☎ 5229-6721(藤井)

13 東京理科大学 落語会

●理科大落研 ●10月9日(土) 18時開演 ●毘沙門天善國寺書院 ●入場無料



東京理科大学落語研究会は長い歴史をもつ由緒あるクラブ活動。狭い部室のものともせず、数学、化学の計算式を頭から振り払い、マクラとオチでいかに観客を笑わせるか、毎日稽古に余念ない。その成果を、理科大がある神楽坂で。女子部員のけなげな落語も楽しみ。☎ 090-4519-9929(和出)

14 古今亭菊之丞 落語の会

●古今亭菊之丞 ●10月10日(日) 11時30分開演 ●茶館/レアナ ●2,500円(おしのぎ付)



「実力のある若い方を育てたい」おこがましくもそんな思いもあって、当館において師匠の登場も3回目になります。師匠とお呼びするのは気恥ずかしいくらい、真打ホヤホヤの若さですが、実力は確か。近くでとくとおきください。演者の息づかいを肌で感じられる会です。☎ 3235-6951(浅野)

15 ブラッセルズ 寄席

●林家たい平 ●10月16日(土) 15時開演 ●ブラッセルズ ●2,500円(ドリンク付)



店長(私だ!)が自ら観たい、聴きたい、笑いたい!という欲求にかられて始めた寄席です。そして、こんな楽しい世界がある事をもっとも沢山のの人に知って欲しかったんです。「落語」って、聴く人の頭と心の中で描かれる世界が一人一人違うんです。演者の癖を聴いて、聞き手は想像の世界に入る(西條)。☎ 3235-1890(西條)

16 法政大学 落語会

●10月22日(金) 18時開演 ●毘沙門天善國寺書院 ●入場無料

女子大生に目もくれず、流行現象にも素通りし、ひたすら古典落語に挑む若者8人衆が、地元神楽坂でその精進振りをお披露目する。理科大落研とどちらがおもしろいか比較するのもおおいに楽しみ。☎ 090-2454-1070(落合)

番外編 二松学舎大学落語研究会寄席ラクゴーマン(寄席)

●9月20日(月) 14時開演 ●毘沙門天善國寺書院 ●入場無料

22 神楽坂を歩く

●法政大学エクステンションカレッジ
●10月30日(土) 12時～ ●飯田橋西口集合
●3,000円 ●5261-5104(宮野)

17 第16回 七転八倒の会

●七転八倒の会事務局 ●10月23日(土) 15時開演
●毘沙門天善國寺書院 ●2,200円(予約2,000円)



由緒ある会場で年6回、偶数月に開催される異色の定例落語会。「二つ目」が「真打」の胸を借りて夢の競演。落し噺で笑うもよし、人情噺で泣くもよし。実力派の喜多八と新進気鋭の胸七による七転八倒の熱演を生でお楽しみください。会場はお座敷ですが、20席ほど折り畳みの椅子席もご用意。☎ 3267-7977(七転八倒の会)

18 第14回 小天狗よつたり会

●10月24日(日) 14時開演 ●毘沙門天善國寺書院 ●500円

毎年1回落語自慢のアマ4人が落語の街神楽坂で競って14年。アマはアマでもアマくはない。社会人落語で優勝した猛者もいて芸を楽しめる。4人は神楽坂を芸の主戦場として木場、芝などから参集する。☎ 3451-3717(小田島)

19 第4回 神楽坂わらだな寄席

●柳家一九、三遊亭吉恋 ●10月25日(月) 18時30分開演
●居酒屋もん ●2,000円(前売り1,800円)



夏目漱石もよく通ったわらだな(地蔵坂)の寄席文化の復活をかけて、落語評論家立川末広(「談志の迷宮志ん朝の闇」などの著者)と「神楽坂まちの手帖」編集長が組んで古典落語100題に挑む、真打ち2人の真剣勝負。☎ 3513-5670(神楽坂まちの手帖)

20 半分ろくまく宴 ―世紀の大ドンデン返し―

●馬遊、扇辰、白鳥 ●(株) チームよいさ 山崎真紀子
●10月30日(土) 14時30分開演 ●毘沙門天善國寺書院
●3,000円(予約2,500円、町内2,200円)

毘沙門天善國寺で、会を始めてはや7年。人気、実力そして個性の三拍子揃った若手真打6人衆が集う「漫性ろくまく宴」。3人演者のときは「半分ろくまく宴」としてお目見え申し上げます。毎回、テーマを決めての番組企画。☎ 3267-4919(山崎)

21 父と暮らせば

●作:井上ひさし ●企画・構成・演出:佐々木梅治
●10月14日(木)～17日(日) 19時開演
(16日は14時開演あり。17日は14時開演のみ)
●アイビット白 TEL.3951-6011(当日のみ有効)

黒木和雄監督、宮沢りえ主演の映画が評判だが、梅治さんの読み語り芝居も好評です。梅治さんは、神楽坂在住。この芝居は、1948年7月のヒロシマが舞台。原爆投下3年目の夏、美津江は死に別れた多くの友人たちのことがあって、幸せになれない。そんなかわい普通の日本人を通して、生き残った人々の生活を、笑い涙で綴った名舞台。☎ 3261-1489(佐々木)

神楽坂境界の法政大生涯学習センター主催の歩く会プラチナ版。文学、歴史、花柳界史などをテーマに探索するほか、普段覗けない料亭内部や名旅館、宮城道雄記念館、矢来能楽堂にも足を踏み入れます。

23 秋の陶芸作品展 & やきもの市

- 神楽坂カルチャーサロン陶芸教室・陶友倶楽部
- 10月9日(土)～10月15日(金) 11時～18時
- 神楽坂カルチャーサロン陶芸教室・陶友倶楽部

陶芸教室の生徒および講師の作品展示と即売をします。すべてオリジナルの作品で、早い者勝ち。

また、体験陶芸のコーナーもあり。ご飯茶碗、湯飲み、マグカップなど1個分(500g)の土で好きなものがつくれます(約2時間)。材料費2,000円。色は9色のなかから好きなものを選んで指定。絵付け希望の場合は、後日に参加が必要(別途1,000円)。講師がつくので安心して作れます。

☎ 3235-2793

24 友禅研究会作品展 & 一日友禅染体験教室

- 友禅工房 染小路
 - 10月4日(月)～10月15日(金) ※木曜定休
- 友禅教室生徒の第1回作品展。ショール、暖簾、クッションなどの小品を展示します。友禅の美しい色彩をぜひご覧ください。また9月25日～10月24日まで一日体験友禅教室も催されます。要予約。☎ 3266-8966

25 切り絵教室

- 神楽坂切り絵かっぱ会 ●10月17日(日) 12時～16時頃まで
- 毘沙門天善国寺境内 ●料金無料

カッターナイフとラシャ紙を使用して、1枚の紙でつながった切り絵を創作します。汀流「浮かぶ切り絵」をお楽しみください。☎ 3260-8072 (花形)

26 北信州そば打ち

- 飯山市東京事務所「故郷庵」協力:蕎麦処「まろうどん」

- 10月16日(土) 10時～13時、17時30分～19時
- 毘沙門天善国寺書院
- 定員各回20人(予定)
- 2,800円 ※要事前申込・見学OK!

北信州産の石挽きしたそば粉と、つなぎに「まごぼう」の葉を使った独特の食感のそば打ち体験です。そば名人(講師)は信州飯山の二代目で、本多横丁下にある人気の蕎麦処「まろうどん」の店主が行います。今回限定の体験です! 伝統あるそば打ちですのでぜひとも体験してみてください。☎ 3260-9270

ダンス ライブ etc

31 マドモアゼル・シネマ ダンス公演 赤い花・白い花 —ブルガリア前夜—

- 10月2日(土) 19時開演
- 3日(日) 16時・19時開演
- セッションハウス地下スタジオ



個々のダンサーの身体が内包している記憶や時間感覚を基に、作品を創り続ける舞踊団が、一昨年に続くブルガリアへの旅立ちを前に衣装や美術などに新たな創意をこらして送る完結編。振付・伊藤直子。野和田恵里花、相原美紀、相馬秀美ら7名が共演。☎ 3266-0461

32 PONTAの ジャグリングショウ!

- PONTA ジャグラー・KEITA
- 10月17日(日) 12時開演
- 毘沙門天善国寺前周辺路上



第2回日本海マジックフェスティバルステージ部門グランプリ受賞! 東京都認定ヘブンアーティストのPONTAが笑いあり驚きありの楽しいコメディーマジックやジャグリングを披露! ご家族揃って楽しいひとときをお楽しみください! ☎ 3269-1407

33 神楽坂縁台ライブ

- アユミギャラリー／神楽坂建築塾
- 9月28日(火) 19時開演 ●アユミギャラリー中庭

神楽坂建築塾研究生の神谷啓介君のギターと歌声。それに鈴木喜一の撮った旅の映像がシンクロする野外ライブ。アユミギャラリーの樺の木の下で、国産材の縁台(杉や桧)の香りに包まれながら満月の夜が過ぎゆく。ビール片手に旅の時空を彷徨いませんか? ☎ 3269-1577

34 ドトールカフェコンサート

- 東京理科大学ジャズ研究会 ●10月10日(日) 15時開演
- ドトール神楽坂下店 ●入場無料

昭和35年設立の理科大ジャズ研。勉強が忙しいにもかかわらず、演奏のレベルは高いです。現在はアルトサックスの石川君がリーダーです。ドトール神楽坂下店では、毎月第2日曜日の午後3時から1時間、ジャズコンサートを開催しています。理科大ジャズ研以外にも過去いろいろなグループが出演してきましたが、現在はこのグループがレギュラー。☎ 5225-1028

35 地球映像ネットワーク ミニシアター木曜上映会

- NPO法人地球映像ネットワーク ●9月30日(木)、10月7日(木)、10月14日(木)、10月21日(木)、10月28日(木) 19時開演
- 地球映像ネットワークミニシアター ●定員30名 ●600円

10年前から世界自然・野生生物映像祭を主催(富山県)。神楽坂の30人シアターで、その優秀作品やドキュメンタリーを毎週木曜日上映。☎ 5261-9907

36 理科大生涯学習センター講座 シリーズ神楽坂学・文学編 ①

「太田蜀山人と江戸狂歌」

- 秋山忠彌(江戸史研究家) 東京理科大生涯学習センター
- 9月25日(土) 10時開演 ●森戸記念館 ●1,500円 ※要事前申込

太田蜀山人は江戸の狂歌師としてよく知られています。ここ神楽坂に在住した武士でした。昼間は武士としての勤め、夜は狂歌師としての創作活動と二重生活を全うしたその生涯を探ります。☎ 3267-9462 (理科大生涯学習センター) <http://www.tus.ac.jp/shougai/>

シリーズ神楽坂学・文学編 ②

「まち歩きと文学—神楽坂を巡る作家たち」

- 井上明久(作家) 東京理科大生涯学習センター
- 10月23日(土) 10時開演 ●森戸記念館 ●1,500円 ※要事前申込

文芸的まち歩きの達人井上明久が、文学作品や作家を通して神楽坂散歩の楽しさに迫ります。近江秋江や矢田津世子など、神楽坂で活躍した一般にはなじみのない作家の作品もあえて紹介し、作家とまちの不思議な関係を発掘します。☎ 3267-9462 (理科大生涯学習センター) <http://www.tus.ac.jp/shougai/>

37 神楽坂界隈の学生生活動紹介 神楽坂学生の環〜Kagring

- 10月3日(日)～10月24日(日) ●神楽坂・飯田橋周辺大学ほか

神楽坂や周辺のまちには、地域活動や研究などでたくさんの学生がかかわっています。わたしたち「神楽坂学生の環〜Kagring(かぐりんぐ)〜」は、活動の第1弾として、神楽坂界隈で行われている学生の活動を紹介します。☎ 090-6540-9851 (石黒)

38 神楽坂を文学・歴史散歩でゴミ拾い

- 10月10日(日) 15時30分 津久戸小学校講堂集合(約2時間) ※雨天中止

昨年8月から毎週第二日曜日、理科大、法政などの大学生が神楽坂・飯田橋をクリーンアップしています。今回はまち飛びフェスタ協賛として、地元地域誌編集長が文学・歴史散歩コースを案内しながらのゴミ拾い。☎ 090-3549-7292 (中村) ※軍手、ごみ袋は用意しています。

市

27 北信州いいやま物産展

●飯山市東京事務所「故郷庵いいやま」

●10月17日(日)12時～売切れご免

●毘沙門天善國寺前および境内

りんご・きのこ類・信州野菜・そば・かりんとう・てづくり

味噌・幻の米など、北信州の旬な特産品を特価販売。また、

まち飛びフェスタのための特製きのこ汁を300名の方に振るま

います。※神楽坂・本多横丁下の飯山市・東京事務所でも特

産品を販売しております。☎ 3260-9270

28 青空市

●神楽坂商店街振興組合

●10月3日(日)12時～18時 ※雨天の場合10日(日)

●神楽坂6丁目商店街界隈

のところまですすパワーアップした、恒例の歩行者天国での大販売

今回もお買得商品が満載です。☎ 3260-4582 (小出)

ロボット

29 東京理科大学のロボット研究

●東京理科大学入試センター

●10月1日(日)～30日(金)14時～17時 ※土・日・祝休

東京理科大学入試センター(神楽坂1丁目、外堀通り)には、声に

反応する受付ロボット「SAYA」ちゃんや、介護用ロボット「マッスル

ーツ」のほか世界初の「2輪駆動自転車」の展示があります。理科大は、

ロボット技術のなかで、特に人間的な細やかな反応に優れているロボット研

究で定評があります。ぜひ見学してみてください。☎ 5228-8107 (理科大広報課・近藤)

30 理大生が集めた神楽坂の古(いにしえ)写真展

●10月17日(日)10時～夕方 ●毘沙門天善國寺

毎年理大祭の期間、神楽坂まちづくりの会協力の下に神楽坂の古(いにしえ)写真展を開いてきたのが理大祭実行委員の面々。今年は新宿区歴史博物館にも取材しているの、掘り出し写真も期待できます。

GALLERY

ギャラリー企画・展示

39 写真展かまくら

●牧野内志乃 ●9月1日(水)～9月30日(木)9時30分～21時30分 ※第2日曜・休

●キトスカフェ

実家のある、鎌倉の写真を集めてみました。☎ 5206-6657

40 岡村多佳夫企画 XVII 森本太郎個展

●9月17日(金)～9月29日(水)11時～19時 ●アユミギャラリー

若い表現者にとって発表の場を提供し、その作品を多くの人に見てもらおうとしてはじめられた岡村多佳夫氏が企画する展示。作家の森本氏は「制作を通して考えたことは、デジタル技術の特性を視覚化し、デジタル化されたイメージを物質として描くこと。それらは人間の記憶のありようにも似ているかもしれない」と語ります。☎ 3269-1577

41 ヤマトヨウコ展

第1部:かぐらざか女人日記(おんなにぎ) 第2部:神楽坂 芸者花伝

●ヤマトヨウコ

●第1部:9月25日(土)～10月8日(金)、第2部:10月9日(土)～24日(日) ●11時～19時

●神楽坂Artspaceエフ

「ヤマトヨウコ展」は、神楽坂在住の写真家ヤマトヨウコが21年間に渡って撮り続けた、花柳界で生きる芸者たちの記録であり、現代の浮世絵アートです。芸者に秘められた日本文化の「いき」を遺すべく、演出をまったく加えずにありのままの姿を映し出した作品の数々を展示します。☎ 5261-3211

42 Applaud Style (アプロードスタイル)

●9月25日(土)～26日(日)12時～19時 ●Applaud

フラワーショップApplaudのスタッフが、生け花・アートフラワー・デザインフラワーの3本立てで、Applaud Styleを提案します。店内一部のレイアウトも変更予定です。☎ 5227-5787

43 月夜におかめ

●おかめ家ゆうこ ●10月1日(金)～10月31日(日)9時30分～21時30分 ※第2日曜・休

●キトスカフェ

月夜に紅葉見物にやってきた動物たちのお話。カフェをまるごとお話の世界に作り上げま

す。つい立てやタペストリーなどを用いて舞台装置のような展示会です。☎ 5206-6657

44 古川タク小品展

●古川タク ●10月5日(火)～10月10日(日)12時～19時 ●茶館パレアナ

当パレアナの看板を見上げ思わずかわいい!とおっしゃる方数知れず。今回はその作者であり、世界的に活躍するアニメーター、イラストレーター古川タク氏の小品を展示販売します。彼のイラストによる当館オリジナル物語絵本「パレアナ」は、現在4刷と版を重ね、神楽坂の隠れたベストセラーといわれるほどです。☎ 3235-6951

45 「土楽の土鍋」展

●10月9日(土)～10月30日(土)12時30分～19時 ●うす沢

伊賀焼の「土楽の土鍋」の数々を、代表的なものから新作まで揃えてお待ちしております。ぜひ手にとってご覧ください。また、作家 福森雅武が活けた「花」の写真(文化出版局「土楽花楽」より)も同時展示いたします。「土鍋の用の美」と併せてお楽しみください。期間中、「土楽の土鍋」をお買いあげ頂いた方には、「炭の舞」の紀州備長炭を差し上げます。☎ 5228-6758

46 野口 稔 作陶展

●野口 稔/うつわや釉 ●10月13日(水)～10月19日(火) ●うつわや釉

埼玉、比企郡吉見町で自ら窯を築き、作陶をつづけている野口稔氏のうつわ展です。粉引きの普段使いのうつわ、信楽の花器などが中心です。素朴な作品をご覧いただきたいと思います。やきものの中で窯焚きがいちばん面白いと語る野口氏のお話をお聞きに、お気軽においでください。信楽の花器に秋草がとても似合います。☎ 3235-2649

47 野澤義宣展「みんな元気」

●9月21日(火)～10月1日(金)12時～20時 ●セッションハウス・ガーデン

具象絵画から出発した野澤義宣が今描き続けているのは「黒い抽象画」。あくなき探究で変遷する、その底流にあるのは、変わることのない自己との対話。未公開の具象画を含め、黒い絵に至る自らの軌跡をたどる初の試み。絵の中から車座になった人々が「みんな元気」と呼びかける。☎ 3266-0461

48 辻田みさ子写真展 日々の点景をフォトに託す

●9月25日(土)～11月27日(水)11時30分～23時 ※日曜休 ●ラ・カバンナ

時折行く山野歩きで心魅かれた風景や日常の点描、一輪の花にも心留めて撮り続けてきた。はがきや額絵にして皆様に差し上げ、喜んでもらえることを自分の喜びとして作品づくりをしている。「この度機会を得て、これらの作品を観ていただくことができうれしい限り」と作者の辻田みさ子さん。☎ 5228-3656

49 すずき あき 染色アート展

●10月14日(土)～23日(土)12時～19時 ●ギャラリー煌(ファン)

京都で友禅染めを学び、さらにイタリアのフィレンツェで染色を追求したすずきあきさんの展示です。山繭紬、手織り布などの天然素材を秋の草木で一点一点、大切に染め上げた作品が並びます。独自の色彩と、ふわりとした柔らかな感触をお楽しみ下さい。☎ 5228-7760

50 飯山市伝統の紹介

●飯山市東京事務所「故郷庵いいやま」

●10月1日(金)～10月29日(金)12時～19時 ※土・日曜休

長野県飯山市の伝統技法の蒔絵、彫り物、金具や光の器(陶器)、自然工作の紹介をいたします。また囲炉裏端も体験でき、休憩所として利用できます。☎ 3260-9270

51 東京理科大学 近代科学資料館

●10時～16時 ●日・月休 ●入館無料 ☎ 3266-7770



●10月14日(木)19時頃～ ●毘沙門天善國寺

日蓮上人のご命日の行事として名高いお会式が毘沙門天でとりおこなわれます。縄や太鼓、万灯山車の行列が、光と音のページェントを繰り広げます。

各イベントの頭の番号は、タイムスケジュールやまち飛びマップで共通です。場所を探すときは、番号でチェックをしてください。

①まち飛びイベント会場
★サポーター・バッジ販売所
○ビームステーション
(ビーム交換機設置場所)

イベント

- ①坂にお絵描き
- ②神楽坂まちなみスケッチ会
- ③雅の世界・琴と胡弓の演奏会
- ④野点(煎茶)
- ⑤小唄 in 神楽坂
- ⑥投扇興と東八拳
- ⑦アートマーケット
- ⑧御家流香道体験講座
- ⑨天に偽りなきものを一謡と花の舞
- ⑩観世九草会 10月定例会

落語

- ⑪立川志らく・落語と異色江戸座談会
- ⑫竹ちゃん亭落語会
- ⑬東京理科大学落語会
- ⑭古今亭菊の丞落語の会
- ⑮ブラッセルズ寄席
- ⑯法政大学落語会
- ⑰七転八倒の会
- ⑱小天狗よったり会
- ⑲神楽坂わらだな寄席
- ⑳半分ろくまく宴

- ㉑父と暮らせば
- ㉒神楽坂を歩く

体験

- ㉓秋の陶芸作品展&やきもの市
- ㉔友禅研究会作品展 & 一日友禅染体験教室
- ㉕切り絵教室
- ㉖北信州そば打ち体験

㉗「アイビット目白」
TEL.3951-6011

★サポーター・バッジは、
神楽坂ファンクラブの
商品券でも購入できます。
(1個=1000ビーム)



市

- ㉗北信州いいやま物産展
- ㉘青空市

ロボット

- ㉙東京理科大学のロボット研究
- ㉚理大生が集めた
神楽坂の古写真展

ダンス・ライブ・etc

- ㉛マドモアゼル・シネマ
ダンス公演
- ㉜PONTAのジャグリングショウ!
- ㉝神楽坂縁台ライブ
- ㉞ドトールカフェコンサート
- ㉟地球映像ネットワーク
ミニシアター木曜上映会
- ㊱理科大生涯学習センター講
- ㊲神楽坂界隈の学生活動紹介
- ㊳神楽坂を文学散歩でゴミ拾い

ギャラリー企画・展示

- ㊴写真展かまくら
- ㊵岡村多佳夫企画 XVII
森本太郎個展
- ㊶マモトヨウコ展
- ㊷Applaud Style
- ㊸月夜におかめ
- ㊹古川タク小品展
- ㊺「土楽の土鍋」展
- ㊻野口 稔 作陶展
- ㊼野澤義宣展「みんな元気」
- ㊽辻田みさ子写真展
- ㊾すずきあき染色アート展
- ㊿飯山市伝統の紹介
- ㊽東京理科大学 近代科学資料館
- ㊿日蓮宗 お会式

「神楽坂まち飛びフェスタ2004」

発行日:平成16年9月17日(金)

発行人:日置圭子(まち飛び実行委員会委員長)

●まち飛び実行委員:坂本二郎 長岡弘志 益田照夫 峰岸和枝 日置圭子 平松南 山下修
●編集人:長岡弘志 ●制作:(有) サザンカンパニー ●印刷:豊田太印刷所
●お問合せ:03-3269-2639 (坂本) 無断転載を禁ず

来年もヨロシクね!

サポーターバッジを通して、まちのイベントを支援しよう！！

神楽坂のまちを応援するサポーターバッジが初登場。このバッジの売上金は、イベントの運営資金として役立たせていただき、これからのまちのイベント活動を広く支援していくために利用されます。このバッジをつけて下記のイベントに参加すると、いろいろな特典が得られます。ぜひ、サポーターバッジをつけてまちへ飛びだそう！

サポーターバッジは1個1000円。公式プログラムのマップにのっているバッジ販売所や神楽坂のお店で販売しています。



サポーターバッジに特典ぞくぞく！！

- | | |
|--|---|
| <p>③ 雅の世界・琴と胡弓の演奏会
サポーターバッジをつけての参加者には、1000円の入場料を800円に割引いたします。</p> <p>⑤ 小唄 in 神楽坂
サポーターバッジをつけての参加者には、2000円の入場料を1800円に割引いたします。</p> <p>⑥ 投扇興と東八拳
予約の上、当日サポーターバッジをつけてご参加の方には、神楽坂特製のぼちぶくろセットをプレゼントいたします。</p> <p>⑧ 御家流香道体験講座
サポーターバッジをつけて体験講座に参加の方には「たんす香」（防虫効果のある筆筒用のお香）をプレゼント。</p> <p>⑪ 立川志らく・落語と異色江戸座談会
サポーターバッジをつけた方は入場料2500円を2000円に割引いたします。</p> <p>⑫ 竹ちゃん亭落語会
サポーターバッジをつけた方は入場料2500円を2250円（消費税別）に割引いたします。</p> <p>⑭ 古今亭菊乃丞落語の会
サポーターバッジをつけた方はドリンク1杯サービス。</p> <p>⑮ ブラッセルズ寄席
サポーターバッジをつけた方はドリンク1杯サービス。</p> | <p>⑰ 七転八倒の会
サポーターバッジをつけた方は入場料2200円を2000円に割引いたします。</p> <p>⑱ 小天狗よったり会
サポーターバッジをつけた方入場料500円のところ400円にいたします。</p> <p>⑳ 半分ろくまく宴
サポーターバッジをつけた方は入場料当日売り3000円を2700円に、予約2500円を2250円（税込み）に割引いたします。</p> <p>㉒ 信州そば打ち体験
予約時にサポーターバッジをつけた方は、参加料500円割引いたします。</p> <p>㉔ 北信州いいやま物産展
サポーターバッジをつけた方は商品買い上げ1点につき10円割引いたします。</p> <p>㉖ 地球映像ネットワーク・ミニシアター木曜上映会
サポーターバッジをつけた方は入場料600円を500円に割引いたします。</p> <p>㉘ 神楽坂を文学・歴史散歩でゴミ拾い
参加者で、サポーターバッジをつけている方にはペコちゃん焼（小倉あん）一つ進呈いたします。</p> <p>㉚ 土楽の土鍋展
サポーターバッジをつけてご来店の方には、「炭の舞」の紀州備長炭を1個プレゼント。お買い上げの方には2個以上プレゼント。</p> |
|--|---|

※ ① はイベント番号です。

寄付および協賛一覧（各商店会や大学の協賛については、公式プログラムに掲載してあります）

紀の善／志満金／陶柿園／五十鈴／山下漆器店／さわや／神楽坂KIMURAYA／ハピネス／コパン／文悠書店／割烹神楽坂とよ田／テラー島田／毘沙門せんべい／坂本ガラス店／助六／十奈美／ドトールコーヒー神楽坂下店／不二家神楽坂下店／パレアナ／うす沢／うつわや釉／酒喬庵まろうど／アブロード／キーストン法律事務所／サザンカンパニー（順不同） ※9月16日現在